

複数の環境が混在するキャンパスでテクノロジーを標準化

教員にとって慣れ親しんだ、IT 部門にとっては導入、管理、拡張が容易なテクノロジーで、柔軟な学習スペースを構築しましょう。

学習スペースにはそれぞれ異なる目的がありますが、教員や学生がどこでも、慣れ親しんだ方法でテクノロジーを利用できることが大切です。その一貫性は標準化により生まれます。

すべての学習スペースを使いやすいものに

テクノロジー管理を簡素化

キャンパス全体に拡大

すべての学習スペースを使いやすいものに

標準化とは、すべての部屋を同一にすることではありません。それは、授業やコラボレーションの実施場所を問わず、教員にとって慣れ親しんだツールを、学生には一貫した学習体験を提供することです。



Tap IP 2

各部屋の対応ロジクールデバイスを、一元的に監視、管理、更新します。

- サポートされているスペースすべてのデバイスのステータスを表示
- 授業に支障をきたす前に起こりうる問題を特定
- リモートからアップデートを展開し、対応デバイスを管理



Rally Board 65

65インチのタッチスクリーンディスプレイに、ビデオ、オーディオ、ホワイトボード機能を統合し、柔軟な授業やコラボレーションを実現します。

- 一体型の設計で教室での操作を簡素化
- 内蔵ディスプレイがプレゼンテーションや共同作業をサポート
- 統合されたビデオとオーディオが、対面参加者とリモート参加者のつながりを促進



Rally Bar 2

小〜中規模の教室、教員オフィス、キャンパスの管理スペースや会議スペース、そしてリモートおよびハイブリッド形式の授業に、クリアなビデオとオーディオを提供します。複数の校舎やキャンパスにまたがる多様なタイプの部屋を、少人数の AV/IT スタッフで運用する教育機関をサポートします。

- 15倍 HD ズームとインテリジェントな参加者フレーミングを備え、最大4K で部屋を撮影
- ビームフォーミングマイクと AI ベースのノイズ抑制機能を使用して、音声をクリアに保つ
- アプライアンスベースまたは USB での導入をサポートし、ロジクール Sync によるリモート管理が可能



MeetUp 2

小〜中規模の教室、教員スペース、ハイブリッド学習環境向けに、シンプルで慣れ親しんだビデオ体験を実現します。

- RightSight 2と RightSound 2 を使用して、AI で強化されたビデオとオーディオを提供
- 小規模な学習スペースでの柔軟な PC ベースおよび BYOD の導入をサポート
- ディスプレイ、テーブル、壁面に設置できるマルチマウントが付属



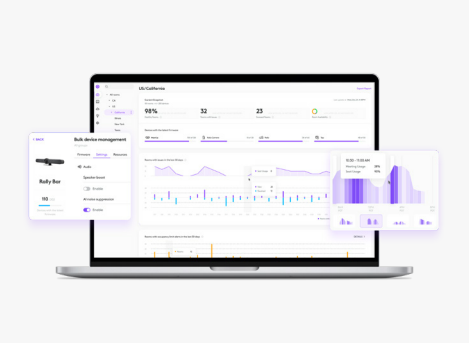
IT 部門が推奨する理由

各部屋に慣れ親しんだ操作環境を提供することで、教員の混乱を減らし、授業への支障を最小限に抑え、回避可能なサポートリクエストの件数を減らします。

50% **教員の50%が毎日 または毎週**、視聴覚テクノロジー（AV）の問題に直面しています。なかでもハードウェアの故障、ビデオ会議の不具合、ソフトウェアへのアクセスの困難さなどが多く挙がっています。

テクノロジー管理を簡素化

多様な学習スペースに対応するために、互いに関連性のないテクノロジーを寄せ集めて使用する必要はありません連携されたエコシステムにより、IT チームが状況をより詳しく把握し、管理できるようにするとともに、各部屋の本来の目的に応じた機能を維持できます。



Sync

対応するすべての教室やコラボレーションスペースで、教員が一貫したタッチ操作を行えるようにします。

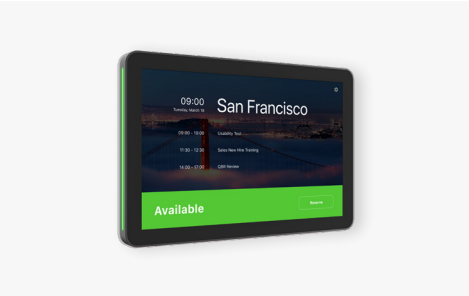
- ワンタッチ参加で簡単に会議を開始
- 一貫した操作により、部屋ごとの習得の手間を削減
- 用途に合わせた設計により、部屋のコントロールを手の届く範囲内に設置



Spot

1つの集中型プラットフォームから、部屋の利用状況や環境条件を監視し、スペースがどのように利用されているかをより詳しく把握できます。

- 学習スペース内の環境条件を監視
- 部屋の利用状況を把握
- スペースに関するデータを将来の計画に役立てる



Tap Scheduler 2

教員や学生が簡単に部屋の利用状況を確認し、共有スペースを予約できるようにします。

- 部屋の使用状況を一目で確認
- 部屋の外からスケジュール管理を簡素化
- キャンパスの共有スペースのより効率的な利用をサポート



IT 部門が推奨する理由

一元化された監視と管理により、IT 部門はキャンパス全体の状況をより明確に把握でき、迅速な対応、スペースのダウンタイムの削減、学習を妨げる技術的な問題への対処が可能になります。

学生が報告した問題：

52% ソフトウェアへのアクセスの問題

66% ログインに関する課題

61% 接続の切断

キャンパス全体に拡大

キャンパス全体の標準化は、1つのスペースから始めることができます。適切な基盤があれば、教育機関は再現可能な方法を確立し、教室の新設、改修、設備更新に合わせてそれを拡大できます。



Rally Camera Streamline Kit

USB PTZ カメラ、ワイヤレス プリセットボタン、簡素化されたカテゴリケーブルの配線により、再現可能な設置環境を作成します。

- 複数のスペースにわたる一貫した導入をサポート
- キャンパスの拡大および設備更新のプロジェクトの際に設置を簡素化
- 教育機関のニーズの進化に合わせて拡張可能な基盤を作成



Rally Camera AI Pro（RightSight 2搭載）

インテリジェントなフレーミングと高性能な PTZ 光学技術を活用し、より広く複雑な学習スペース全体で、講師、学生、そしてその活動の様子を捉えます。

- AI を活用したフレーミングを使用して、部屋をより見やすく撮影
- 対面およびリモート参加者のどちらにとっても魅力的な体験をサポート
- 教育機関がより一貫したビデオ標準を作成できるように支援



Rally System 2 Pro

教室から臨時スペースまで、キャンパス内のさまざまな環境にビデオとオーディオを届け、場所を問わず学習環境を柔軟に拡張できます。

- 複数のカメラとマイクポッドによるモジュール式の設置により、すべての学習者と教育者が見て、聞いて、参加できる環境を実現。
- 複数のカメラとマイクがロジクール Link 経由で接続され、大きな教室や変則的な形状の部屋でも、小さな教室と同じインテリジェントなフレーミングとオーディオ体験を提供
- 柔軟な設置とリモート管理



Scribe

ホワイトボードに書かれた内容を、教室内の学生とリモートの学生の両方に鮮明に共有します。Scribe は、内蔵 AI を使用して、参加者がボードを遮られることなく見えるようにすると同時に、手書きのメモや図、付箋もより見やすくします。

- 透過効果によって、参加者はプレゼンターを「透過」して、遮られることなくホワイトボードの内容を確認可能
- ホワイトボードマーカーの色とコントラストを自動的に強調し、視認性を向上
- 付箋など、ボード上の追加コンテンツを認識して表示



Reach

デモンストレーションや実習を、オンライン参加の学生を含むすべての学生が見られるようにします。Reach の調整可能なカメラは片手で位置を変えることができるため、講師は書類、物体、作業の様子をさまざまな角度から簡単に撮影できます。

- 最大1080p、60フレーム/秒で映像を細部まで撮影
- 水平方向と垂直方向の移動に加え、360度の回転に対応
- USB-C 経由で接続し、ほとんどのコンピュータや会議やストリーミング用のプラットフォームで動作

IT 部門が推奨する理由

再現可能な設置により、計画、導入、サポートが簡素化されると同時に、教育機関は柔軟に、予算に応じて段階的に標準化を進めることができます。

標準化はまず1つの部屋から始め、それを次の部屋のための再現可能な基盤とすることができます。



次なるステップの基盤を築く

キャンパス全体を一度に変える必要はありません。まずは次の教室、講義室、またはコラボレーションスペースから始め、そこから拡大できる、慣れ親しんだテクノロジー体験を構築しましょう。

段階的に1スペースずつ一貫した環境を築く

標準化は1つの部屋から始めることができます。ロジクールは、教員や学生にとって慣れ親しんだ環境を構築しつつ、IT 部門によるテクノロジーの導入、管理、拡張を容易にする柔軟なソリューションを提供します。

ロジクール教育分野担当窓口にご連絡いただき、次の学習スペースの計画をお始めください。

logicool for education

詳細は logitech.com/education/highered をご覧ください

© 2026 Logitech, Logicool. All rights reserved.株式会社ロジクールは、Logitech Group の日本地域担当の日本法人です。Logicool、Logi およびそれらのロゴはLogitech Europe S.A. または米国およびその他の国における関連会社の登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に含まれる製品、価格設定および機能情報は、予告なく変更される場合があります。

[1-2] AVIXA およびLogitech、『When AV Tech Fails, Students & Faculty Leave』、2026年2月2日。